

(ヘッドクーラーココミン)シートが冷えない場合

<確認1> 使用されている場所の室温は適温ですか？

室内の温度状況によって、冷えないことがあります。室温をご確認願います。

✓ 室温から約 8 度冷やすことが出来ます。

<確認2> シートの水が不足していませんか？

シートの水が不足している可能性があります。シートの重さをはかり、重量が少ない場合は、水を補充してください。

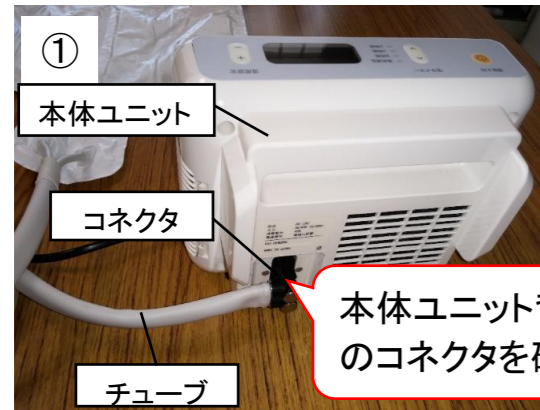
【ご準備頂くもの】



水が不足している場合、必要になります



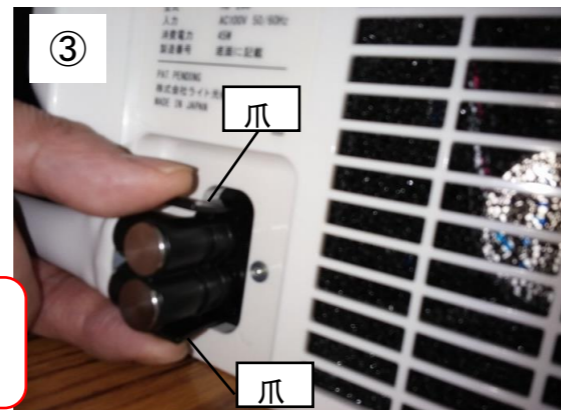
【手順1】本体ユニットからシートを外す



本体ユニット背面のコネクタを確認



上下の黒い爪をつまむ



爪

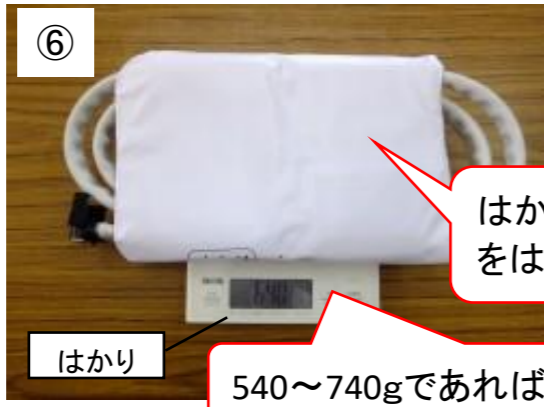


つまんだまま手前に引っ張る

【手順2】シートの重さをはかる



シートとチューブをまとめる



はかりで重さをはかる

540~740gであれば問題ありません

【540gより少なかった場合】  
手順3に進んでください

【540g~740gの場合】  
手順4に進んでください

【740gより多かった場合】  
作業を中止し、購入先までご連絡ください

<ポイント！>  
シートの重量が540gより少なかった場合、  
手順3に沿って640gになるまで水を入れてください

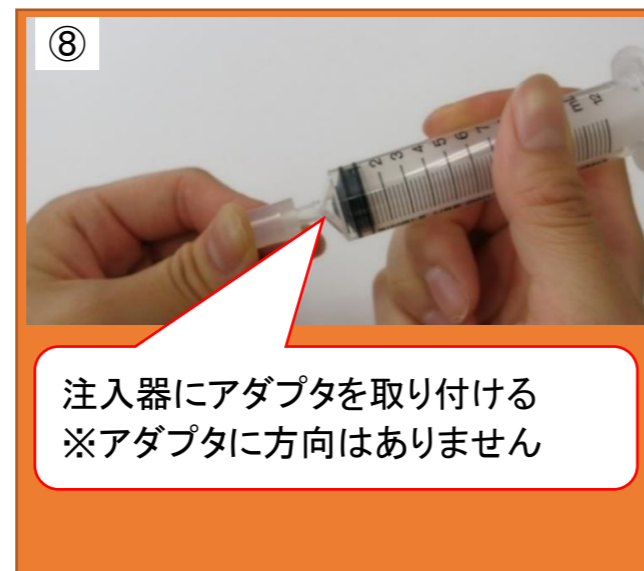
【手順3】シートに水を補充する(手順2で重さが540gより少なかった場合)



同梱されている注入器セットから注入器とアダプタを取り出す



注入器にアダプタを取り付ける  
※アダプタに方向はありません



ペットボトル入り飲料水(軟水)を準備する



ペットボトルの水を注入器で吸い込む



シートとコネクタを平らな個所に置き  
アダプタをコネクタの先端に強く押し込む  
※コネクタは左右どちらでも問題ありません



アダプタを押し当てたまま注入器の水をコネクタに入れる

水が640gより足りない分だけ、⑩~⑪の作業を繰り返してください

【手順4】シートを本体ユニットに繋げる



コネクタをつまんだまま本体ユニットに差し込む



上下の黒い爪が本体に確実に固定されていることを確認する

水の補充作業は完了です

裏面の<確認3>もご覧ください

<確認3> シートに空気が混入していませんか？  
シートに空気が混入している可能性があります。シート内から空気を抜いてください。

【ご準備頂くもの】



同梱されている注入器セットから注入器とアダプタを取り出す

作業を開始される前に、注入器にアダプタを付けて準備してください



注入器にアダプタを取り付ける  
※アダプタに方向はありません

【手順1】製品を2〜3分運転し、本体から「ポコポコ」や「ガラガラ」といった音が連続して発生しないか確認する



① 電源を入れる

本体ユニット



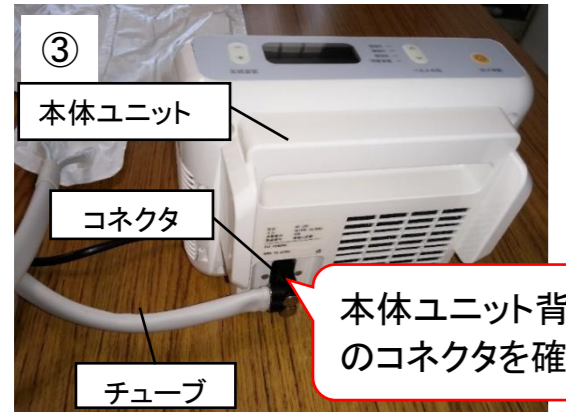
②

本体ユニット背面からの音を確認する

【本体から音がした場合】  
手順2に進んでください

【本体から音がなかった場合】  
シートに空気の混入はありません。  
シートが冷えない場合は、  
購入先までご連絡ください

【手順2】本体ユニットからシートを外す



③

本体ユニット

コネクタ

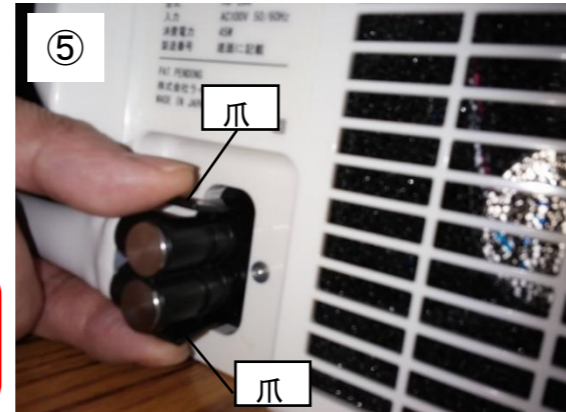
チューブ

本体ユニット背面の  
コネクタを確認



④

上下の黒い爪  
をつまむ



⑤

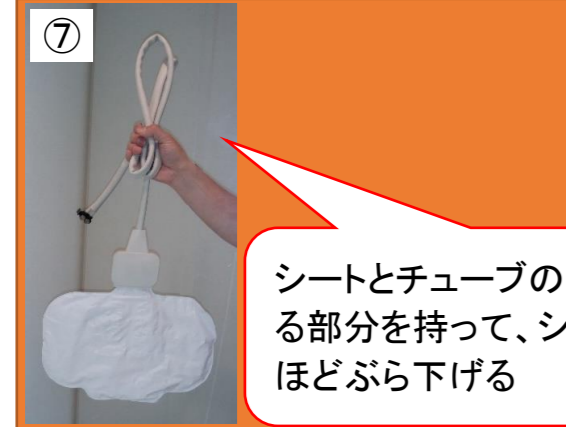
爪



⑥

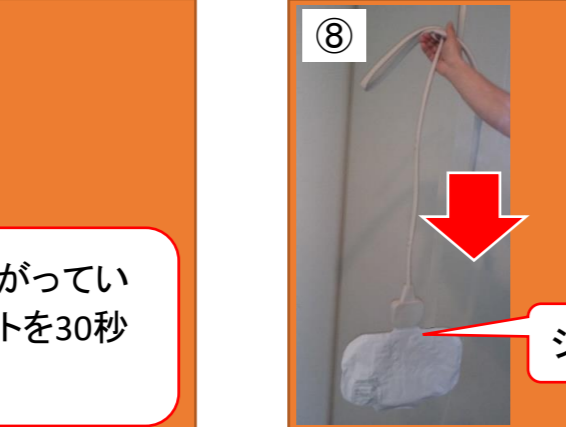
つまんだまま手  
前に引っ張る

【手順3】シートを持ち、徐々に下げていき、中の空気をチューブの上方に移動させる



⑦

シートとチューブの繋がっている  
部分を持って、シートを30秒  
ほどぶら下げる



⑧

シートを徐々に下げていく



⑨

コネクタのところまで来  
たところで、下げるのを  
停止する



⑩

コネクタをシートより高い位  
置で維持したまま、シートを  
平らな個所に置く

【手順4】注入器セットを使用し、チューブから空気を抜く



⑪

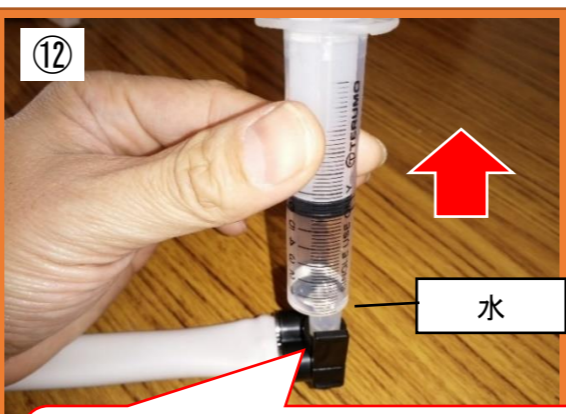
コネクタ

アダプタをコネクタの先端に強く押し込む  
※コネクタは左右どちらでも問題ありません



⑫

アダプタを押し当てたまま、  
注入器の内筒を引く



⑬

水

注入器内に水が出てきたら一旦作業  
を停止する。



⑭

コネクタ

もう一方(左右逆)のコネクタにアダプタを押し  
当て、⑫と同じ作業を繰り返す。水が出て  
きたら作業を停止する。

【手順5】シートを本体ユニットに繋げる



⑭

コネクタをつまんだまま本  
体ユニットに差し込む



⑮

上下の黒い爪が本体に確実に  
固定されていることを確認する

空気抜き作業は完了です

上記3点を確認してもシートが冷えない場合は、お手数ですが、取扱説明書内のお問い合わせ先までご連絡ください。